

夢公園

2020年

6・7月号

No. 98

発行：夢パークつうしん編集委員会
高津区下作延 5-30-1 子ども夢パーク内
Tel:044-811-2001
<http://www.yumepark.net>

夢パでできこえたみんなのこえ

オンライン授業
ってサボれねえ。

自粛についての考え
に違いがあって、少し
でも外遊びにいくと、
ママ友から悪者扱い
されてしまう。

こんな時だからこそ、みんなの声を集めました。
思ってること、感じること いっしょ？ちがう？

ヒマすらストレス、
ヒマで困る。

子どもが遊べるように
屋内を安全でちょっと
面白い場所にしてく
て、お家を少し改造し
ちゃっています。

やっぱり友達の前、
直接みたいよね。

勉強は後から追っ
てくことが出来る
けど、人と触れ合っ
たり群れて培われ
るものは今しかな
いですよね。

身体動かしたい
のに、動かせな
くて嫌だ。

開いてるだけで
良いと思う。

家にいるんだから、
お父さん遊んでよ。

家で子どもが
ゲームばかり
してて、頭を
抱えている。

仕事
なんだけどな…。

家の近くは人の
目が気になって
遊べないけど、こ
こなら大丈夫っ
て思える。

散歩してても休憩す
る場所がないから助
かりました。

こんな時期に
来ちゃって
ごめんなさい。

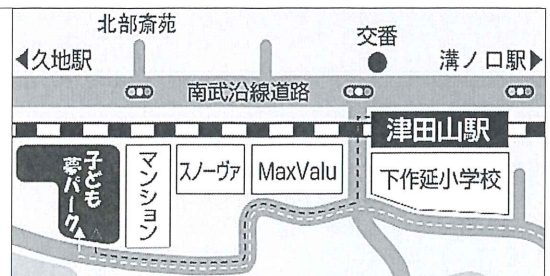
宿題あって、
ヒマ
じゃねーよ。

ここのありのままを
感じれる開放感が
本当に気持ちいい。

子ども夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに
つくられた子どもたちの『やってみたい』がいっぱいある場所です。

開所時間：午前9時～午後9時 入場無料
休所日：施設点検日（毎月第3火曜日・大型イベント翌日）
年末年始（12/28～1/4）

* しばらくの間、土日祝日は午後6時閉所の予定です。HPでご確認ください。
駐車場はありません（障がい者用駐車場についてはおたすねください）



「どんな時も夢パークを開き続ける理由」 所長 西野博之

新型コロナウィルスの感染が広がり、緊急事態宣言が出されたときに悩みました。ほかの多くの施設のように閉めるべきか、開くべきか。「この病気にかかりたくはない」「自分がうつしてもいけない」。スタッフ同士でも、市職員の方たちとも、いっぱい話し合いました。子どもたちの意見も聞きました。みんなで出した結論は、「開き続けよう」でした。そのワケは？

学校が休みになり、親が仕事で休めない家庭の子たちが、誰もいない家で、一人で過ごさなければならない。ご飯は食べられているのだろうか。日本医師会のポスターに「遊びは子どもの主食です」と書かれている。思い切り遊ぶことができない日々が続くと、子どもたちのこころとからだに心配。外にも出かけられずストレスがたまったら、兄弟げんかが増えるのでは？ それを見ていて親がイライラするのでは？ 子どもたちが夫婦げんかのとばっちりを受けないか？ 仕事に行けずに親がずっと家にいることで幸せが広がる家庭はいいけど、そうでない家の子は逃げ場がない。



(＊日本医師会ポスター)

夢パークは子どもの権利条例をもとにできた施設。オープンした時から大切にしてきたことは「子どもの居場所」を守り、つくり続けること。安全で、安心して

いられる場があること。困ったときに、「助けて」が言えること。そのためにはいつもとかわらずに、自由に行ける場があることが大事。そこにいつもの知っているスタッフがいることで、安心して話ができて、言葉にできない子どもの SOS を発見することができる。ウィルスの恐怖で心がつぶれそうな時も、仲間と一緒に遊ぶことで、心も晴れる。それはおとなも一緒。親子で家にこもっていると孤独と不安で押しつぶされそうになってしまうけど、ここに来れば仲間に出会える。ホッとできる。

そういう場は必要なですね。だからこれからも、感染拡大防止に十分気をつけながら、行政と協議のうえで、夢パークは開き続けていこうと考えています。



スタッフの目「感じることは、自粛できないよ」



夢パークは、子ども達の「やってみたい」を大切にできる場所だ。でも今は、ちょっとそれが難しくなっている。「やってみたい」気持ちがわいて、実際に「やってみよう」となる。すると、どこからか、「これは三密なのか？大丈夫か？」と声が聞こえて、「うっ・・・」、となってしまう。ここ最近、よくあること。

4月の緊急事態宣言を受け、この場をどうしていきたいか、何度も話し合った。結論は、「開き続ける」を守ること。閉所リスクを避けるために、遊具の貸し出しも制限することになった。そこに至るまでに、ある子の言葉があった。「開いてるだけで、いい」。

「開いている」、「だけ」で「いい」、ということだろう。今まで出来ていたことが出来なくなる、おのずと「やる」ことが少なくなる。「それでいいのか？」、「それでも開ける意味はあるのか？」「出来ることが少ないのに、この場所は、必要なのか？」そう問われても、不思議ではない。

ただボーっとする。ただ歩いてみる。夢パークで「何もしない」で、ただいる。

暑い、鳥の音がする、緑が鮮やかだ、梅のにおいがする、南武線の音が大きい、砂ぼこりが・・・と。意外と忙しい。「何もせず」、ただいるだけなのに。自然を「感じて」しまう。

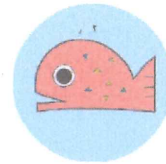
「感じる」ことは自粛できない。だって自分で選べないから。それは、私たちの内側からわきおこる、「私にしか」感じ取れないこと。それにふたをすると、少し苦しくなる。私が私じゃなくなる感じがする。

「この場所のありのままを感じれる開放感が気持ちいい」と言うお母さんがいて、「暇だな～つまんないな～」そうつぶやく子がいる。一瞬、一瞬、色んなことを、人は感じている。「感じる」ままに「感じる」ことは、ありのままの自分であることなのだろう。そのために、居場所はいつも、開かれているのだと思う。

(ス・やのちゃん)



夢パークからのお知らせ



老朽化が進んでいた、

「ごろり」と「ゆるり」の床を張り替えました！



「ごろり」、すべすべできれいだよ～



「ゆるり」、寄贈頂いた杉板のおかげでいい香り

使えないもの、できないこともたくさんあるけど、できることもきつとたくさんある！

地面も空間も土も光も水も使える。木や草花もたくさんある。虫や鳥もたくさんいる。自分の笑顔や気持ちも使い放題！
絵を描いてもいい。本を読んでもいい。何もしないでぼーっとする自由だってある！

さて、どんな時間が過ごせるかな？ステキな過ごし方を見つけたら、スタッフに『じまん』してね！（事・いるっち）

『新型コロナウイルス感染拡大の予防のため…』

いろいろな対策をしています。

最近、よく聞くこのひとこと。

夢パークでも、様々な対策をすると共に、

みんなに、いくつかのことをお願いしています。

貸し出し中止・持ち込みのお断り

自転車などの乗り物（自転車に乗って来るのはOK!）

ラケットやボール・竹馬など

トランプや人生ゲームなどのゲーム類 工具類

消毒用アルコール設置

受付、トイレなどに設置しています。

検温やこまめな手洗いもお願いしています。

※家で検温を忘れたら、受付で体温計を借りる事も出来ます。

その他

出来るだけ他の人と1～2メートル離れた距離を。

お弁当やお菓子の分けっことは、控えましょう。

（できるだけ個包装のものがいいですね。）



えんでは、コロナウイルス感染拡大防止のために様々な取り組みを実施しています。えんに入る前には必ず検温と手洗い、手指の消毒！フクミネさんと作った、足踏み式消毒台が大活躍です。室内は、常に

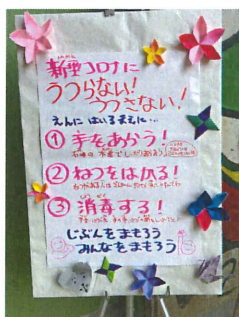
窓を開けて換気し、マスクの着用や密着・密集を避けて過ごすようみんなで気をつけ合っています。

えんが終わるだいたい1時間前からは消毒タイム。机の上やパソコン、ゲームなど、自分たちが使ったものをアルコールや次亜塩素酸水で拭き掃除。コップやお皿など、使った食器は80度以上の熱水に10分間浸けて消毒しています。

座布団で寝転がったり楽器を弾いたりお菓子を作って食べたり、今まで通りに出来ないこともあります。今できることの中でどうやって楽しく過ごすかを工夫

する毎日です。おもしろい遊びやアイデアがあったら教えてね。

（ス・はるひ）



みんなで夢パークについて話し合う「つくりつづける会」

毎月1回、利用者懇談会として、「つくりつづける会」を開催しています。これは夢パークの利用者なら、子どももおとな

も誰でも参加できます。また参加者同士のコミュニティの場にもなっており、みなさんの近況報告などをしながら交流しています。これまでに、ここで出された意見や提案が実現したものはいくつもあります。子どもたちからの提案についても、みんなで協力し合って実現しています。

つくりつづける会は、毎月第3土曜日の14時からログハウスで開催しています。ただ、この3月からは、COVID-19の影響で開催できていません。4月と5月はメールを活用して情報交換しています。まだまだ先が見えませんが、参加してみたい方は夢パーク事務所までご連絡ください。

（支・中島）



きれいにし隊
11:30 から夢パーク周辺のごみ
拾いをしています。